

名古屋コーチン 歩いて育てて

愛知淑徳大生アプリ開発

手のひらの中で、名古屋コーチンを育てませんか？ 長久手市の愛知淑徳大の学生でつくる「名古屋コーチンもりあげ隊」などは、名古屋コーチンのマスコットを卵から育てるアプリ「コーカツ」を開発した。学生らは「楽しく名古屋コーチンを育てて、愛着を持ってもらえたら」と話している。

二年前、名古屋コーチン協会が若者向けにアプリの開発に着手。学生目線のアイデアを盛り込みたいと、昨年四月にもりあげ隊に協力を依頼し、共同で作りを上げて九月上旬にスマートフォン向けに提供を始めた。

実際の成長と同じく、開始から二十一日でふ化し、七十日で成鳥となる。百八十日たつと、結婚適齢期に。どこからともなく、つがいが現れて結婚し、新たに卵が産まれる。雌雄は選べず、ランダムに決まる。

アプリはスマホ内の歩数計と連動するように設計され、八千歩歩くと一日、成長が進むようにした。ランダムに表示されるクイズに正解したり、ふ卵器の中の温度や湿度を管理したり

「食文化守りたい」料理店も紹介



すればポイントがもらえ、たまればさらに成長する。隊の代表でビジネス学部四年の阿部虎之助さん(三)は、制作にあたり、四つの育成ゲームアプリを使用した。「数日、使わなかった

(蓮野亜耶)

「楽しくアプリで名古屋コーチンを育てて、愛着を持って」と話す阿部さん(三)ら＝長久手市の愛知淑徳大で

らアプリ内の動物が死んでしまつて。やっぱり、悲しいのでコーチンが死なない仕様にした」と笑う。

コーチンのデザインは、同大創造表現学部三年の荒川莉乃さん(三)が担当。「リアルすぎず、でも誰からも愛されるようなかわいさを持たせるため、何パターンも絵を描いた」と振り返る。背景にもこだわり、鳥小屋では殺風景だと感じた荒川さんは、他の育成アプリを参考に名古屋コーチンをワンルームに住まわせるなど工夫を凝らした。

アプリには、名古屋コーチンを提供する全国の百四十店も記載した。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、名古屋コーチンを提供する店舗、生産者は厳しい状況が続いており、阿部さんらは「アプリで楽しんだら、次は店でコーチン料理を堪能してもらい、名古屋の食文化を守ることに貢献できたら」と語った。

利用は無料。iPhone、アンドロイドに対応しており、ダウンロードは「名古屋コーチン」で検索する。

2020年10月21日(水) 中日新聞 朝刊 15面
この記事は中日新聞社の承諾を得て転載しています。